

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年3月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103904
法人名	有限会社 ドリーム・ミソノ
事業所名	グループホーム紫原
所在地	鹿児島県鹿児島市紫原4丁目34-31 (電話) 099-250-2643
自己評価作成日	令和4年2月15日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和4年3月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・高台にあり春になると道路沿いの桜や近くの公園の桜がとてもきれいで、コロナ禍になる以前までは、毎年花見見物へ入居者様をお連れしております。

・近所に公園や学校、医療機関があり、大きな道路から少し入ったところにある為、とても静かで恵まれた環境に作られたホームです。

・学校の職場体験を受け入れたり地域の文化祭・夏祭り・運動会の見学を行うなど地域との交流を行っております。(現在はコロナ禍の為、中止しております)

・入居者様には出来るだけ入居前と変わらぬ生活を送って頂きたい為、ご自宅で使用していた家具などをお持ち頂く事をお勧めしております。

・入居者様が日々楽しく有意義に暮らせるように努めております。

・施設内は広々とした空間があり、開放感があります。

・職員は介護福祉士の有資格者が多く、月に1回の内部研修や外部研修にも力を入れ常に自己研鑽に勤めております。

・災害時の避難場所も近くにあり、避難訓練を定期的に行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、市中心地から数キロ離れた紫原地区の高台に平成18年に設置されている。周辺には小・中学校や公園、医療機関、多種の商店、テレビ局、個人住宅等が立ち並んでいるが、幹線道路から一筋控えた道路沿いで住宅に囲まれているため、気になる騒音等も無く閑静な環境である。開設以来、自治会に加入して地域との交流に積極的に取り組んできており、自治会の総会出席やイベントへの参加、友人知人の来訪、買い物時の会話、ボランティアや実習生の受け入れ、幼稚園の運動会参加等、円滑に交流する関係を築いているが、コロナ禍により現在は、外出を伴う交流やホームの行事に家族や地域の人の参加は控えている。

管理者及び職員は、利用者の誇りや尊厳、習慣等を大切にしながら思いの把握に努め、利用者主体の生きがいのある暮らしの支援に努めている。利用者の高齢化及び重度化が進行しているため、排泄や入浴時のケアは2人で対応することも多く、また、全員での外出も難しい状況であるが、利用者の意向に沿って趣味や特技、家事の取り組みを個別に支援し、その人らしい楽しみのある生活となるよう取り組んでいる。日頃から利用者や家族からの意見や要望の把握に努め、職員全体で協議して利用者主体のより良いサービスの実践に取り組んでおり、アンケートの結果からも家族との深い信頼関係が窺える。

管理者及び職員は、日頃から気軽に意見が言い合える良好な職場の人間関係を築いており、日常の業務の中やミーティング、カンファレンス時に意見や要望を出し合って運営やサービスの向上を図っている。管理者は、日頃からケアへの助言・指導、スキルアップを図る研修の実施に努め、勤務シフトには休暇の取得や健康状態、個人的な事情等を配慮するなど、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所やホールなど、目につく場所にあり、常に意識し共通認識を深めていく。	長年掲げてきた理念を数年前に関係者全員で見直して変更している。理念は玄関やホールに掲示し、毎朝唱和も行って共有し、また、毎年3月には理念に関する研修やケアの実施状況の再確認も行って、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	通常は幼稚園の運動会や中学生の職場体験、近くの公園である夏祭りの見学に出かけ、地域の人と触れ合っている。今年度もコロナの影響でできていない。回覧板で地域の情報を共有している。	コロナ禍により、いろいろな制限はあるが、自治会に加入して回覧板等で地域の情報の把握に努め、通院、訪問美容の実施や住民から寄せられる高齢者福祉や認知症ケアに関する相談等に専門性を活かして丁寧な助言に取り組んでいるが、ボランティアや実習生の受け入れ、ホームの行事への家族や地域の人の参加等は自粛している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	施設見学や相談に来られた際に気軽に手にとれる取りやすい所にわかりやすい資料を設置している。また、運営推進会議時に時々、専門の方々よりお話しをお願いしているが、今年度もコロナの影響でできていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	通常は定期的な運営推進会議を実施し、入居者様の状況やサービスの実際、外部評価の結果報告を行い意見をもらい、サービス向上に活かしている。また、内部研修の発表報告を行っている。今年度もコロナの影響で資料のみ送付している。	会議は、家族、町内会長、民生委員、市担当者等が出席して隔月毎に開催しているが、コロナ禍に配慮して現在は職員だけで開催し、会議録や資料を委員に送付して意見要望等を貰っている。職員は寄せられた意見等を検討して運営やケアの向上に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政連絡事項は電話や市役所に足を運び迅速に対応している。地域包括の担当者の方にはコロナ禍以前は運営推進会議に参加して頂いていた。現在は紫原行事予定表などで事業所の近況報告をしている。	市の担当者とは窓口や電話で、介護保険の代理申請や各種制度の申請・報告、感染症にかかる協議や相談等を行い、助言や指導、提案を貰うなど、かねてから協力関係を築いている。ズームによる市主催の会合や研修に参加して運営やサービスの向上に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に研修を実施し、理解を深めている。玄関の施錠は基本的に夜間のみとしている。	身体拘束については運営規定や重要事項に明記され、計画的に研修を実施して認識を共有している。毎月のミーティングや日頃のケアの中で振り返りや意見交換等を行い、尊厳や特性、個々のペースを大切にされた拘束の無いケアに取り組んでいる。身体拘束適正化に関する指針を整備し、委員会も年6回開催しており、また身体拘束廃止委員会も毎月開催して認識を共有している。昼間は玄関の施錠は行わず、不適切な言動には、その都度、職員間でも注意や助言に努め、改善を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に虐待について研修を行い、入居者様の尊厳を損なわないケアに心がけ防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修にて人権擁護委員会の方の講演に参加していたが、コロナ禍の為、現在は内部研修にて理解を深めている。必要時はその都度、関係者と話し合い活用できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は一語一句をわかりやすく説明行っている。理解され納得できたかを確認し、契約や介助の署名・捺印を頂いている。報酬改定などあった場合は文書でお知らせして了承を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置しているが、あまり活用はされていない。施設の相談担当者、解決担当者、外部に定めた第三者委員の連絡先を重要事項説明書に明記して説明並びに玄関に掲示している。	利用者や家族には、日頃から気軽に意見・要望を言いやすい雰囲気づくりに配慮しており、利用者の思いは日常の会話や表情、仕草等で汲み取るように努めている。家族からは窓越しでの面会や電話、LINE、運営推進会議等で、また、園便りでも利用者の状況を伝えながら意見、要望を頂くように取り組んでいる。職員は出された内容等を共有し、ミーティング等で協議して改善に繋げている。なお、コロナ禍により家族会は中止している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常の業務の中やミーティング時に意見や提案を聞いており、その都度、解決に向けて取り組んでいる。	管理者及び職員は気軽に意見を言い合える良好な人間関係を築いている。日頃の業務の中や申し送り、ミーティング時に意見や要望を出し合い、個人面談も行って業務やサービスの向上に取り組んでいる。管理者は、業務に対する助言・指導やスキルアップを図る研修の実施に努め、勤務シフトには有給休暇の取得や健康状態、個人的事情等にも配慮する等、働きやすい職場環境の整備に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格、所得による手当の支給や実績による評価をして頂く等、向上心を持って働くことができるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間計画を立てて職員が持ち回りで様々な研修内容の資料を準備し勉強会を行っている。外部研修も案内を回覧したり参加できるように進めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡会の研修に参加したり、その他の研修などに参加する事を推進し情報交換、交流の場を広く持てるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスを利用開始する段階にて不安な事や希望をお聞きし説明を行っている。ご本人様の初回面接時は話しやすい、溶け込みやすい雰囲気大切に出来る様に配慮し行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを利用開始する段階でご家族の関係を確認し、面会や電話連絡の際にコミュニケーションを取り、良好な関係作りが出来るように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用開始する段階で、ご本人と御家族が必要とする支援をお聞きし確認したうえで、利用可能なサービスをその都度説明させて頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様が、できる事を活かせるようにそれぞれの状態に合わせて役割を持てるように支援する事で、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員はご家族に状況をお伝えするが、ご家族も面会時や外出時に状態の変化に気付いた時は、職員にお伝えして頂くようお話している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの深い物や大切にされている物を居室に置いている方もいらっしゃる。友人・知人の訪問・面会はコロナの影響で難しいですが、電話や写真にて馴染みの関係が途切れないよう努めている。	利用者や家族、関係者からの情報で利用者毎の馴染みの人や場を把握している。コロナ禍に配慮して、家族との面会は窓越しで実施し、感染予防対策を徹底して通院時のドライブや訪問美容に取り組んでいるが、買い物や外食、会食、墓参等は控えている。電話や手紙の取り次ぎに努め、写真を添付した園便りの送付等、工夫して関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常的に入居者同士が会話されたり、1階と2階、コロナの関係で別々ではあるが、誕生会や季節のイベントに参加して頂ける様、支援させて頂いている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの利用が終了しても、その後のご本人の様子をご家族に電話等でお聞きし、場合によっては相談に乗ったり、必要に応じてアドバイスをを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の様子の観察を日常的に行い共に会話をすることで、ニーズを把握するように努め、困難見受けられる場合は、表情や動作より読み取ったり、ご家族様からお伺いして把握に努めている。	高齢・重度化により対話が難しい利用者もいるが、日頃の会話や仕草、独自のサイン等から思いの汲み取りに努め、家族の意向も確認しながら、その人らしい安全で生きがいのある暮らしになるように取り組んでいる。利用者の意向に沿って趣味のぬり絵や読書、絵本書き、テレビの視聴、新聞読み等の取り組みを体調や残存機能に配慮しながら個別に支援し、それらの成果には評価の言葉を添えて達成感が得られるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人のペースに合わせた生活を送れる様支援する為に、これまでの生活歴や暮らし方を、ご本人やご家族様よりお伺いしている。また、今まで使い慣れた家具や個人の思い入れのある物等を持って来られている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別の記録やバイタルチェックを行い、ご本人の様子を把握し、体調の悪化や不安見受けられる時は、医師へ報告・相談している。また、関わり合いの中より、一人一人の生活リズム・できる事の現状の把握を行い、維持・向上が出来る様努めてい		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様やご家族様の意向、職員や必要な関係者からの意見をお聞きし、カンファレンス時に意見交換を行い、介護計画に反映されるよう努めている。	利用者や家族の意向を把握し、主治医の指示やモニタリング時の職員の意見を基に改善点等を確認し、残存機能、習慣、楽しみ事等にも配慮した介護計画を作成している。通常、半年毎に見直しして計画を更新しているが、状態変化時には計画を実態に沿って変更し、家族の理解も得てケアに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子やケアの実践・結果、気づき等を個人別に記録し、特記事項などは毎日朝・夕の申し送り時に情報を共有し介護計画の見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>各入居者様のニーズやご家族様の状況などに合わせて柔軟な援助ができるよう取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>今年度もコロナの影響の為、制限はあるが、通常は運営推進会議の開催や地域の行事、消防署の避難訓練や救命救急講習会実施にて安全で豊かな暮らしを楽しむ事ができるように努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人及びご家族の希望に合わせたかかりつけ医と連携を図り適切な医療を受けられるよう支援行なっている。状態・症状に合わせてご家族様に報告・相談し専門医を受診している。</p>	<p>本人・家族が希望する医療機関での治療を支援しており、現在7か所の医療機関が主治医となっている。定期的な訪問診療（月2回）や通院を実施し、他科受診もコロナ禍に配慮してホームで同行している。日頃から衛生や健康管理に努め、健康状態は家族にも密に報告して共有を図っており、利用者及び家族の信頼、安心に繋がっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の中で気付く少しの状態変化は、母体の病院の外来看護師に伝えて適切な受診が出来る様に連携を図っている。訪問看護師等を利用されている方は、訪問看護師にその都度、状態をお伝えし連携を図っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時にサマリーを提供したり、立ち会って情報提供を行っている。入院中は定期的に面会を行い、ご家族様や、看護師、相談員と情報交換を行っている。また、母体の病院と連携を図っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居者様の状態によって、ご家族様、主治医、職員間で話し合いを行い、ご家族様が納得のいくように説明をしっかりと行いながら、支援を行っている。	重度化や看取りの対応の指針を整備しており、利用開始時に本人及び家族に、原則的に看取りは実施しないことも含めて説明し理解を得ている。入所後は病状に応じて随時、話し合いや意向の確認を行い、可能な限り家族の思いに沿ったケアをチーム体制で取り組んでおり、3年前には2人の看取りも実施している。重度化や治療内容により、訪問看護も利用している。看取りや重度化対応の研修を実施して、スキルアップや不安感の軽減を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年に一度の救急蘇生法の講習行っており、事故発生時の対応については、毎月の研修等で勉強会を行い、スムーズに行えるようマニュアルを作成し緊急時に備えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、消防署へ依頼し、夜間と昼間を想定した火災避難訓練と地震時の避難訓練を行っている。また、近所へも事前に連絡し、協力を求めている。水や防災グッズ、担架を分かり易い場所に設置しており、火災通報装置、スプリンクラーも設置している。</p>	<p>夜間発生も想定した火災中心の災害訓練を年2回（コロナ禍で消防署立ち合いは得られていない）実施し、消火器や自動通報装置等の取扱いも研修している。また、風水害や地震災害時対応の自主訓練も実施し、日常的に避難経路や消火器の設置場所等を確認している。また、救急救命の訓練にも取り組んでいる。3日分以上の食品や飲料水を備蓄し、カセットコンロやラジオ、懐中電灯等も備えており、近隣の住民との災害時の協力体制も構築している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩として、一人一人尊重した言葉遣いで接している。トイレ利用時には、ご本人のみ聞こえるように、声量に気をつけている。	人格の尊重やプライバシーの確保、守秘義務については運営規定や重要事項に明記され、計画的な接遇研修の実施や日頃の業務の中で意見交換等も行って認識を共有している。入室時はノックや声掛けを励行し、排泄や入浴時のケアは羞恥心にも配慮して、適切な言葉やトーンに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	いくつもの言葉を挙げて、ご本人が決めやすいように声をかけている。いつでも話しやすいように、日頃の会話を怠らないようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に応じて居室で過ごして頂いたり、読書、テレビ、会話等個々に合った生活をして頂く様にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	状況に応じ（本人の体調、コロナ過の中注意して）訪問美容サービスを受けている。髪型や衣服でおしゃれを楽しんでいらっしゃる方もいる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	台拭き、お盆拭き等、職員と一緒にしている。季節の食材は、調理前に見て感じて頂く様にしている。	食事は利用者にとって一番の楽しみで関心も深いことから、好みや栄養バランス、季節感、盛り付け等に配慮して調理しており、重度化でミキサー食や刻み食トロミ等形態を変える利用者も多い。おせちや節句、敬老会などの行事食や誕生日・クリスマス会のケーキ、手作りのおやつ、テイクアウトの弁当、手作りのヨーグルト等工夫し、利用者も食材の下処理やお盆拭き等を楽しみながら行っているが、コロナ禍に配慮して外食や家族との会食、弁当持参の外出等は控えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事・水分摂取量を記録し把握に努めている。摂取量が少ない方に対しては、言葉かけを行ったり、ご本人の好む飲料水を用意したり、状態によっては医師やご家族と連携を図りながら、支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時や毎食後に、口腔ケアを必ず行っている。ご自分で出来る方もさりげなく、見守りを行っている。ご自分で出来ない方には、声かけして職員が実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄のサイクルを把握し職員間にて共有し、声掛けや誘導を行っている。訴えがない方は、表情やしぐさを察し対応している。	利用者の身体の状態や排泄パターン等を把握し、プランに反映させて支援に取り組んでおり、重度化により常時オムツ使用（2人）の利用者には早目の交換に努め、また、夜間のみポータブルトイレ使用の人もある。昼間は声掛け等で可能な限りトイレでの排泄を支援して排泄機能の維持に努めており、オムツからリハビリパンツへの改善も見られている。介護用品やケアの方法を工夫し、便秘の予防に手作りヨーグルトや植物繊維の多い食品、水分の摂取、運動量に配慮し、主治医にも相談しながら改善を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の予防として、体操に参加して頂いたり、水分を多く摂取して頂いている。また、15時のお茶の際、手作りヨーグルトを召し上がって頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は基本的に曜日を一人ひとり決めているが、個々の体調等状況に応じて、時間や曜日の変更を行っている。	利用者の健康状態や意向を確認しながら基本週2回の入浴を、清拭への変更も取り入れながら支援している。午後の時間への変更や時間、温度、同性介助、好みのシャンプー等は利用者の意向に沿って柔軟に対応し、利用者のペースで楽しんで貰っている。入浴後は保湿軟膏の塗布や水分補給を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣や体調によって、入眠時間を調整したり、休息を促している。居室の室温・明るさ等の調整を行い、出来るだけ安眠して頂けるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬準備は2名の職員で行い、必ずチェック表に記入している。服薬前は薬袋の名前・日付を確認している。また、薬の管理指導は、担当薬局の薬剤師に指導頂いている。薬剤師と連携を図り、情報共有を行い、服薬変更時等、必要に応じて相談を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	テレビを観たり、パズルや塗り絵に取り組みれたり、他の入居者の方や職員との会話を通じて、ただ笑うだけで幸せを感じられる時間を共有する事で、少しずつ馴染みの場所を感じられるよう支援している。月1回の誕生日会ではケーキを召し上がって頂いたり、季節の行事に参加して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>体調に合わせて、敷地内での外気浴を行っている。現在はコロナ禍の為、外出やご家族との面会等で、直接触れ合う事は出来ないが、ガラス越しに電話にて交流して頂いている。</p>	<p>コロナ禍でいろいろ制限があり、また、高齢化や認知症の重度化により全員での外出は困難になってきているが、日常的にテラスや玄関先での外気浴や、通院時のドライブを楽しんでいる。地域のイベントの殆んどが中止され、ホームの外出計画も十分には実施できない状況が続いているため、室内での軽い体操やゲーム、読書、絵本書き等の個別の支援も工夫してリフレッシュを図っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物のご希望がある時はご家族様へ相談し、職員の方で購入するか、ご家族様で購入して頂く様に支援行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>必要に応じて電話をかけたり、深夜帯以外は、いつでも通話の取次等対応している。但し緊急時はこの限りではない。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>室内の明るさ・室温・温度に常に注意し、冷暖房の調整やカーテンの開閉を行い、入居者様が過ごしやすい環境を整える様に心がけている。また、季節に応じた飾りを入居者様と共に飾り付けを行い、居心地よい空間作りに努めている。</p>	<p>利用者が昼間の殆どを過ごすホールは、開放的で明るく余裕あるスペースが確保されている。テーブルやソファ、テレビ等が利便性に配慮して設置され、利用者の作品や行事の写真、季節感のある活花、雛人形、花鉢等が飾られ、厨房からは調理の音や臭いも伝わり和やかな雰囲気である。また、窓からは桜島や道路を行き交う人や車が眺められている。清掃や空調、整理整頓に努め、感染予防の手指消毒剤も設置されており、不快に感じる臭いや騒音もなく、利用者は四季を感じながら穏やかな日々を過ごしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様との相性や、心身状態・歩行状態等を考慮して、机の位置や座席を調整している。また、入居者様の状態によっては、職員の近くにてゆっくりとテレビをみたり、おしゃべりをして過ごされている方もいらっしゃる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にご自宅で使い慣れたものを持って来て頂いて、ご本人ができるだけ居心地よく過ごせるよう工夫している。コロナ禍以前は季節の変わり目はご家族様に衣類や布団などの衣替えや整理を依頼していた。	居室はフローリングの床に腰高窓の構造で明るく余裕ある広さが確保され、ベッド、エアコン、タンス、洗面台が備えられている。利用者は自宅で愛用していた毛布やテレビ、家族写真、人形、小物等を持ち込み、自身の作品や長寿祝いで頂いた額等も飾って、その人らしい落ち着いた雰囲気のある居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ・浴室には手すりを設置し、自立歩行やつかまり立ちができるよう支援している。また、居室やトイレ・浴室の入り口には、名札などを貼りわかりやすいように工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない